



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 デジタルアーツ株式会社  
コード番号 2326 URL <http://www.dai.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 道具 登志夫

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 赤澤 栄信

TEL 03-5220-1160

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,325	9.5	466	38.6	516	50.2	302	44.0
26年3月期第3四半期	2,124	7.6	336	△5.2	343	△3.0	210	△2.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 309百万円 (47.1%) 26年3月期第3四半期 210百万円 (△2.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	21.81	21.77
26年3月期第3四半期	15.17	15.12

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	5,218	76.2	4,063	76.2		
26年3月期	4,873	77.8	3,876	77.8		

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,977百万円 26年3月期 3,789百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,330	10.0	767	17.5	770	16.7	461	15.4	33.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	14,133,000 株	26年3月期	14,133,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	248,800 株	26年3月期	252,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	13,882,728 株	26年3月期3Q	13,864,181 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、世界経済・競合状況・為替・金利の変動等もかかわるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社ホームページに掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)における我が国経済は、政府・日銀の積極的な経済・金融政策の推進により、緩やかな回復基調が続きましたが、急激な円安の進行に対する懸念など、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。当社グループの属するセキュリティ業界におきましては、クラウドサービスやスマートフォン・タブレット等のモバイル端末の利活用が進展する中、特定の企業や国家機関を狙ったサイバー攻撃、シャドーIT問題、組織内部関係者による個人情報の漏えいなどが注目を集め、情報セキュリティ対策への需要がより一層高まっております。また、学校などの教育機関においてもタブレット端末の配布に伴い、校外、校内でのWebアクセスを一元管理するニーズが高まっております。

このような状況の下、当社グループでは、企業および公共向け市場において、新たなセキュリティ課題である“シャドーIT”による情報漏えい対策に有効な機能を搭載した「i-FILTER」 Ver. 9、スマートデバイスやノートパソコンなど、様々な端末で利用可能な「i-FILTER ブラウザー&クラウド」 Ver. 3.5 (モバイル端末版)、昨今ニーズが高まっているクラウドメールにも対応したメールフィルタリングソフト「m-FILTER」 Ver. 4 (サーバー版)の販売を推進いたしました。また、個人情報の漏えい事故が相次ぎ、組織内部関係者による情報流出リスクへの対策が急務となる中、ファイル暗号化・追跡ソリューション「FinalCode」に対する関心と要望が益々高まり、既存バージョンの販売を進めながら、お客様の要望が多い機能について開発を進め、ユーザビリティの強化と既存機能の改善に努めました。また、家庭向け市場においては、保護者や青少年向けの啓発活動を実施し、多様化するインターネット利用に対する情報セキュリティ対策の必要性を訴え「i-フィルター」の需要喚起、販売促進に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,325,597千円(前年同期比109.5%)となりました。また、利益面につきましても、開発人員増強に伴う減価償却費の増加や今後の成長に向けた米国子会社への投資、国内子会社の解散等を行いました。また、売上の増加に加え、販売施策の見直し、円安の効果等があり、営業利益は466,658千円(前年同期比138.6%)、経常利益は516,497千円(前年同期比150.2%)、四半期純利益は302,715千円(前年同期比144.0%)となりました。

各市場の業績は、次の通りです。

## 企業向け市場

主力製品である「i-FILTER」並びに「m-FILTER」の販売が順調に推移いたしました。「i-FILTER」につきましては、国内外の2,000を超えるWebサービスの機能を制御する「Webサービス制御」機能を搭載した「i-FILTER」 Ver. 9の販売が、主として輸送用機器業、情報・通信業、建設業等のお客様を中心に進みました。また、「m-FILTER」につきましては、平成26年5月よりクラウドメールに対応した「m-FILTER」 Ver. 4 (サーバー版)の販売を開始し、シンクタンクやコンサルティング業等のお客様獲得が進みました。一方、「FinalCode」につきましては、サイバー攻撃や組織内部関係者による情報漏えい対策への需要が高まり、小規模案件や手軽に利用を開始することが可能なASPサービス(クラウド版)の販売が進み、前年同期で大幅な増収となったものの、従来より導入検討を進めて頂いている大規模案件の一部について、受注が遅れることとなりました。

以上の結果、企業向け市場の売上高は、1,233,752千円(前年同期比111.3%)となりました。

## 公共向け市場

公共向け市場におきましても、主力の「i-FILTER」並びに「m-FILTER」の販売が順調に推移いたしました。「i-FILTER」につきましては、企業向け市場同様、高機能製品である「i-FILTER」 Ver. 9の販売が教育委員会や地方自治体を中心に堅調に推移いたしました。さらに、スマートフォンやタブレット等のモバイル端末を利活用したデジタル学習の拡大を背景として、文教向けに「i-FILTER ブラウザー&クラウド」(モバイル端末版)の販売が進みました。また、「m-FILTER」につきましては、公共市場においてメールアドレスの個人化が進み、メールセキュリティに対する需要が増加した事により、教育委員会や地方自治体を中心に販売が順調に推移いたしました。

以上の結果、公共向け市場の売上高は、826,841千円(前年同期比110.2%)となりました。

## 家庭向け市場

スマートフォン向けフィルタリングソフト「i-フィルター」は、OEM提供による販売が順調に推移いたしました。収益性改善を目的とした販売施策の見直しを実施した結果、減収となりました。一方、ゲーム端末向けとしては、任天堂株式会社の携帯型ゲーム機「Newニンテンドー3DS™」のインターネットブラウザーに、「i-フィルター」の技術が採用され、日本国内において幅広く市販されるゲーム端末として初となる『ブラウザーのフィルタリング設定がはじめから有効な状態』で提供されております。インターネット利用における青少年の安全を確保するため、他のインターネット利用端末での採用に向けた提案活動を継続してまいります。

以上の結果、家庭向け市場の売上高は、265,003千円(前年同期比99.5%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、主として売上債権の回収による現預金の増加427,674千円により、前連結会計年度末に比べ345,132千円増加し、5,218,519千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、主として未経過保守売上による前受金の増加196,706千円により、前連結会計年度末に比べ158,356千円増加し、1,155,244千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、主として四半期純利益の計上による利益剰余金の増加177,771千円により、前連結会計年度末に比べ186,775千円増加し、4,063,274千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね順調に推移しており、通期の連結業績見通しにつきましては、平成26年5月9日に公表いたしました業績見通しと変更はございません。

なお、業績見通しにつきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。今後重要な変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,155,787	2,583,461
売掛金	814,636	730,904
有価証券	401,458	100,859
製品	6,770	5,609
繰延税金資産	60,726	60,726
その他	58,135	86,591
流動資産合計	3,497,513	3,568,153
固定資産		
有形固定資産	127,329	104,695
無形固定資産		
ソフトウェア	755,168	837,815
その他	133,285	122,750
無形固定資産合計	888,453	960,566
投資その他の資産	360,090	585,104
固定資産合計	1,375,873	1,650,366
資産合計	4,873,387	5,218,519
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,911	293
未払法人税等	181,574	102,680
賞与引当金	99,398	53,134
前受金	476,397	673,104
その他	190,138	283,244
流動負債合計	954,420	1,112,456
固定負債		
資産除去債務	41,933	42,253
その他	535	535
固定負債合計	42,468	42,788
負債合計	996,888	1,155,244
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	713,590	713,590
資本剰余金	732,237	734,041
利益剰余金	2,490,168	2,667,940
自己株式	△146,860	△144,880
株主資本合計	3,789,135	3,970,691
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	6,602
その他の包括利益累計額合計	—	6,602
新株予約権	87,362	85,981
純資産合計	3,876,498	4,063,274
負債純資産合計	4,873,387	5,218,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,124,786	2,325,597
売上原価	648,071	690,930
売上総利益	1,476,714	1,634,666
販売費及び一般管理費	1,140,000	1,168,008
営業利益	336,714	466,658
営業外収益		
受取利息	1,991	2,072
受取手数料	221	214
為替差益	4,695	46,341
未払配当金除斥益	950	1,058
雑収入	10	239
営業外収益合計	7,870	49,926
営業外費用		
株式交付費	596	—
消費税等差額	151	—
支払利息	—	87
営業外費用合計	747	87
経常利益	343,836	516,497
特別利益		
新株予約権戻入益	5,345	153
特別利益合計	5,345	153
特別損失		
子会社清算損	—	1,898
特別損失合計	—	1,898
税金等調整前四半期純利益	349,182	514,752
法人税等	138,922	212,036
少数株主損益調整前四半期純利益	210,260	302,715
四半期純利益	210,260	302,715

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	210,260	302,715
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	6,602
その他の包括利益合計	—	6,602
四半期包括利益	210,260	309,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	210,260	309,318

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。